

1 募集期間 令和7年11月4日(火)から12月3日(水)まで

2 意見提出者数 38人

3 意見件数 51件

4 提出されたご意見の要旨と市の考え方

(ご意見は、文意等を損なわないように要約させていただいている。)

NO.	項目	ご意見	市の考え方
1		大里駅から市民病院やリーフウォークへ乗り継ぎなしで行けるのは大変便利。	今後も利用状況を確認しながら、利便性を維持しつつ効率的な運行に努めてまいります。
2		下津・大里線を新幹線南部まで延長して欲しい。地元住民の要求は強まっている。	
3		大里線、中之庄、堀田、七ツ寺路線を復活して欲しい。バス停を増やして、便利にして欲しい。	今回の路線変更案については、名鉄名古屋本線の大里駅へのバス停留所の設置にあたり、運行本数への影響を最小限とするため、効率的な経路設定を行ったものです。
4		中之庄や堀田団地の停留所が遠いと聞いた事があります。	ご要望の地域へのバス停留所の設置は、運行本数のさらなる減便につながり、利便性の低下が懸念されますので、現状ではこれ以上の延伸は困難な状況であることをご理解いただきますようお願いいたします。
5		バス停留所を日下部松野町内に置いて欲しい。	
6		長野～アクロスプラザ稻沢間のルート変更をお願いしたい。稻沢中央線とのルートの重複はもったいない。 参考案:長野一セブンイレブンザスクウェア国府宮西一ローソン日本軽金属西一稻沢ファーストホテル一国府宮駅東口一稻沢中学校北一餃子の王将一稻沢市民会館東一稻沢市民病院一長束一LAMU前一アクロスプラザ稻沢	ご指摘の他路線とのルート重複は非効率が懸念される一方で、重複するバス停においては利便性の向上が期待できます。 コミュニティバス運行事業については、利用状況や各種調査などを参考としながら、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
7		大里西市民センターに停留所を設置してほしい。市民センターでの行事等にお年寄りが積極的に参加することにより、認知症や歩行機能低下が防げると思われます。	大里西市民センターについては、令和5年3月までバス停を設置していましたが、利用が1日1人に満たない状況でした。 そのため、令和5年4月に旧「大里線」の路線の見直しに伴い、バス停から「コミュニティバス接続便乗り場」に変更し、現在では大里西地区の各接続便乗り場から直接アクセスできるようになっております。
8		大里西市民センターにも是非バス停を設けてください。支所の役割があり、住民の交流の場、文化を発生する大切な所です。現にサークル活動などを断念された方々があります。	コミュニティバス接続便は事前予約が必要となります、市民センターまで直接アクセスできる利点もありますので、こちらのご利用をご検討いただきますようお願いいたします。
9	運行路線	大里東市民センターにバスが欲しい。 バス停不在を補完するために、おでかけタクシーが設けられているものの、タクシー会社へ連絡をしても、満車・電話に出ないなどにより、タクシー会社へ電話するのは諦めて、時間をかけて杖をつきながら病院へ行っています。 コミュニティバスの路線を稻沢市民病院を基点にしているが、それ以外の民間病院の近くにもバス停を設けること、そして開院している時間に多く停車時刻を設定することが、利用者を増やすことに繋がるのではないか。 具体的に、日下部北町には、シゲキ＆カズコ整形外科内科・大里あいわ眼科・大里デンタルクリニック・稻葉薬局が比較的近い範囲に集中しています。	大里東市民センターについては、令和5年4月に旧「大里線」の路線の見直しに伴い、バス停から「コミュニティバス接続便乗り場」に変更しております。 今回の路線変更案では、接続便乗り場「大里東市民センター」からバス停「パールシティ」まで接続し、下津・大里線に乗り継ぐことで、バスにより大里駅方面へ行くことができます。 その際には、シゲキ＆カズコ整形外科内科や大里あいわ眼科などの最寄りとなるバス停「日下部郵便局」も経由いたします。 コミュニティバス接続便は事前予約が必要となります、こちらのご利用もご検討いただけますと幸いです。
10		大里駅から市民病院(図書館、市民会館)へ行く場合、朝は市民病院受付時間に間に合うよう直行便、昼間は帰路用のものなど考えて欲しい。	
11		目的地までかかる時間が長く感じます。 高齢になると自宅(日下部松野町)から大里駅までが遠く感じます。	今回の路線変更案については、大里駅を出発した後、利用が多く見込まれる国府宮駅、稻沢市民病院までできる限り効率的な経路で設定しております。
12		大里駅近くに住んでいます。よく聞く事は市民病院までの行きはいいが、帰りのいい時間帯がないと聞きます。 大里駅～市民病院まで時間がかかる様な気がします(27分)	今後も利用状況や各種調査などを参考としながら、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
13		今回の路線は、大里駅に停留所を設けるためだけに大里地区の一部を通るもので、大里地区全体を運行するものではなく、下津地区と大里地区を無理やり結び付けたアンバランスな路線です。 大里西・大里東・下津地区をそれぞれ運行して欲しいです。 地区を限定することで、バス停の数や運行便数を増やすことができ、利便性がよくなります。 参考案(大里西地区):稻沢市民病院一小池南(稻沢市民会館)一正明寺一国府宮駅一アクロスプラザ稻沢一緑町一宮長一北島東一七ツ寺一堀田一中之庄一高重一増田一大里駅一大里西市民センター	ご要望のとおり、地区ごとで路線を設定することで、きめ細かい停留所の設置や運行本数を増やすことが可能となり、利便性の向上につながるものと考えます。 しかしながら、それには車両の追加や乗務員の確保が必要となります、市の財政負担が大きいことに加え、昨今では全国的にバスの運転手不足の状況でありますので、現状では困難であると考えております。

NO.	項目	ご意見	市の考え方
14	運行路線	平和地区では、住民があまり住んでいないところを通っているため、利用者が増えないのだと思う。塩川、下起、西光坊、法立地区で人が住んでいる場所を通るように検討して欲しい。 以前、西光坊橋の改修時に路線が変更されたと思いますが、現在は橋の工事も終わっていますのでぜひとも検討のほどお願いいいたします。	平成31年3月までは、旧「平和線」により勝幡駅－北津島病院－ヨシヅヤ平和店－平和支所－矢合観音－アピタ稻沢店－ヨシヅヤ新稻沢店－稻沢市役所を運行しておりました。 その際、平和地区の東城、下三宅、観音堂も経由しておりましたが、当該路線の利用が低調であったため、平成31年4月に路線を見直し、「千代田・平和線」として現在の形で運行しております。 この度ご提案の地区については、住宅が多い地域として認識しておりますが、路線の設定には「道路の幅員」、「安全に乗降できるバス停位置」、「既存のバス路線や運行時間との整合性」などを考慮する必要があります。 そのため、現在の千代田・平和線の利用状況を分析しながら、今後より最適な経路を検討する場合には、今回のご意見を参考とさせていただきます。
15		平和地区内のバスの運行が無い。平和支所⇒矢合観音までバスを走らせて欲しい。	
16		平和地区から緑風館高校の始業時間に間に合う便が欲しい。	平和地区から公共交通機関を利用して稻沢緑風館高等学校に通学する場合、名古屋鉄道の国府宮駅から名鉄バス(稻沢中央線)に乗り継ぎ、バス停「稻沢公園」で下車していただく経路が想定されます。 また、高校まで新たに路線を通す場合は、現状の市内のバス経路を考慮しますと、名鉄バス(稻沢中央線)における路線変更が考えられますが、既存のルートや運行ダイヤの全面的見直しが必要となるため、既存の利用者への影響が大きいものと考えます。 現段階ではご要望にお応えすることが難しいことをご理解いただきま すようお願いいたします。
17	運行本数	路線を延長すると所要時間が増え、運行便数へ影響を及ぼします。14便から12便に減便となります。その影響について説明してください。	今回の路線変更案に伴う減便については、利用が低調な「始発便」と「最終便」を削減するものです。 これらの便は、国府宮駅とアクロスプラザの区間のみの運行であるため、利用への影響は限定的なものと考えております。
18		大里駅から市民病院への便を増やして欲しい。	
19		バスの本数が少ないので増やして欲しいです。	運行本数を増やすためには、「現行路線の短縮」や「新たな車両の追加」が手法として考えられます。 路線の短縮については、既存の利用者に影響があるため、慎重に検討する必要があります。
20		運行本数が増えれば利用しやすくなると思う。	また、新たな車両の追加は、併せて運転手の確保も必要となります。市の財政負担やバスの運転手不足の状況を考慮しますと現状では困難であると考えております。
21		運行本数を多くして欲しい。選挙投票日には特別便を出してほしい。	
22	時刻表	稻沢市民病院に朝8時頃着できるようにバスの始発を7時～7時30分頃に願います。遅くとも9時00分には病院の受付をすませるためにです。	今回の時刻表変更案については、始発便が7時15分にパールシティを出発した後、7時23分に大里駅を経由し、7時54分に稻沢市民病院に到着しますので、ぜひご利用ください。
23	利用料金	乗車費が半額とか無料の対象者があるのに、免許証返納が出来ない高齢者は一律額です。高齢者対象に半額或は低額の敬老バスなどの対応は出来るのではないか。空車走行を減らす案になると思います。	令和6年9月実施の利用者アンケートでは、本市のコミュニティバス(ワゴンタイプ)の利用者は、70歳以上が約6割を占めております。 そのため、コミュニティバス事業の継続性の観点から、高齢者割引の導入は非常に難しいものと考えております。
24	接続便	幸町から稻沢東公民館まで接続便を利用することができます。接続便乗り場からの距離が遠くならないのであれば、市民病院へのアクセスも検討すべきだと考えます。それによって、タクシー不足など、接続便の事業が成り立たないのであれば、接続便の運行自体を根本的に考え直す必要があると考えます。	コミュニティバスのような定時定路線で市内全域をきめ細かく運行することは、財政負担や運転手確保の観点から、非常に困難であるため、一部の地域におきましては、予約に応じて運行するコミュニティバス接続便(デマンド交通)により対応しております。 近年、全国的に様々な取り組み(AIオンデマンド交通、相乗りタクシーなど)が実施されておりますので、他市の先進的な事例を調査しつつ、本市の地域特性に即した地域公共交通サービスを提供できるよう努めてまいります。
25		接続便方式は不便で予約が難しいので廃止を。	
26	利便性	停留所に時刻表があるが、その停留所を実際に通過したのか分かるようにして欲しい。特に遅延してくる場合は判別がつかず不安です。	ご指摘のとおり、コミュニティバスは道路状況により遅延が生じる公共交通でありますので、近年の猛暑等への対策も考慮し、バスの現在位置や到着時間がスマートフォンなどで確認できる「バスロケーションシステム」の導入に向けて調査・研究を進めてまいります。
27		他の路線への乗り継ぎを考慮して欲しい。	「他の路線への乗り継ぎ」に関する改善は、コミュニティバス事業の利便性向上につながりますが、乗り換え場所を設定した上で、各路線の距離や運行時間の調整を図る必要があるものと考えます。 今後も利用状況や各種調査などを参考としながら、より良い地域公共交通の実現に向けて、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいります。

NO.	項目	ご意見	市の考え方
28	広報・周知	大里線は廃止になっており、復活時の利用者への連絡報告のPRが必要です。関係地区の市民へのPRを分かりやすく全員に行き渡るように考えて下さい。	今回新たに設置するバス停付近の行政区におきましては、「広報いなざわ」以外にも組回覧などを活用して広く周知してまいります。
29		バス停周辺の住民にPRして、利用を促す活動をして欲しい。利用者は高齢者が多いので老人会、民生委員、ふれあいサロンの会合等に利用PRする様リーダーへの依頼をして、口コミで広げてもらう。おでかけタクシーや接続便からの乗り継ぎ利用、名鉄電車との乗り継ぎの便利さをPRして、本数不足の解消を。	
30		コミュニティバスの路線・時刻表等の周知をうながす様なツール等の配布。	
31		令和5年4月1日から大里線を廃止して下津・大里線に変更した際に、大里駅に接続便乗り場は設けない理由が明確に示されているにも関わらず、半年もたたないのに変更を検討するものですか？	コミュニティバス接続便につきましては、「市内の交通空白地帯の解消」を図る目的で運行しているため、公共交通機関である鉄道駅には接続便乗り場を設置しない考えでこれまで運用してまいりました。しかしながら、令和5年4月の路線見直しに伴うバス停「大里駅」の廃止を契機に、「これまでの考え方を今後見直す必要があるか」との協議を稻沢市地域公共交通会議にて行うこととなりました。その結果、接続便の運用は変更しないものとした上で、一定数の利用が見込まれる旧バス停「大里駅」の再設置について検討し、今回の下津・大里線の路線変更案に至りましたので、ご理解いただきますようお願いいたします。
32		バス路線を変更する場合はスピーディに行ってほしいです。令和7年度第1回の会議で決定し、10月1日からスタートできたと思います。(会議で反対意見がなかつたため)	コミュニティバスの運行路線を変更する場合は、地域公共交通会議での協議(合意)、バス停留所の隣接地権者との調整、市民参加条例に基づいたパブリックコメント、愛知運輸支局(国土交通省)への届出などの手続きが必要となり、所定の期間を要しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
33	バス事業全般	町民の願いであった大里駅復活したのは嬉しい。継続させる為に運賃以外の収入の確保を。車に乗れなくなったり車がなくなった場合利用したい。	本市ではコミュニティバス運行事業の財源確保として、令和8年4月から「コミュニティバス車体における有料広告」を予定しております。
34		市民病院への利用が多くなる。	今後も利用状況や各種調査などを参考としながら、運行事業者と連携し、より良い地域公共交通の実現に向けて、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいります。
35		車も自転車も使用できないのでコミュニティバスの復活を心待ちにしています。	
36		停留所大里駅が復帰は大変うれしく思います。パールシティへの買い物も楽になるので大変うれしく思います。ぜひ、復活して下さい。	
37		大里駅が復活したのは知人も喜んでいた。	
38		75才の年金生活者です。現在は、車の運転が出来ますがコミュニティバスが復活すれば非常に便利になると思います。	
39		現在車の運転をしていますが、免許証を返却する日々は迫っているので、大里駅に停留所が出来ればとっても助かります。市民病院、買物ととっても助かります。大いに利用します。	
40		現在、免許返納の時期を考えています。病院、買物など雑多な用件などがあり交通手段が少ない我町にとってコミュニティバスが運行されると云うことは大変うれしく思います。前回廃止された時は利用されていた方が随分怒りとなげきの言葉をお聞きしました。その方も喜ばれると思います。私も多いに利用させていただきたいと思います。	
41		今回のコミュニティバス運行事業計画(案)では、大里駅バス停留所が復活するとの事、感謝申し上げます。日下部松野町では高齢者の方が今後増える傾向にあり、稻沢市民病院とかスーパーへの足となると思います。私は、現在利用しておりませんが、近い将来利用することに成ると思っています。	
42		見守り訪問の際に大里駅に以前のように「コミュニティバスがとまってくれたら」という要望はよく聞いていたので、よかったです。いずれ車に乗らなくなつて利用するころまで存続していくと願っています。	
43		今後ますます高齢化が進むので、この大里地区の路線は継続していただきたいと願います。	

NO.	項目	ご意見	市の考え方
44	バス事業全般	このたび大里駅に停留所を復活していただきありがとうございます。以前はコミュニティバスを時々利用していましたが、経路や時刻表の変更で不便になり利用をあきらめた経緯があります。今後は、利用客が少ないので廃止するという方向ではなく市民の足として活用されていない原因を調査していただき改善していくことを希望します。	今後も利用状況や各種調査などを参考としながら、運行事業者と連携し、より良い地域公共交通の実現に向けて、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいります。
45		大里駅が復活して非常に助かります。	
46		年齢的にも車を手ばなすのは時間の問題です。車に乗らなくなればバスがあれば便利だと思います。バスに乗って知らない所を見ながら目的地に行くのも楽しいと思います。	
47		現在78才で車の運転もあと数年と思われ、運転を止めた時点で貴重な移動手段となり必要になってきます。	
48		下津・大里線の路線を延長し大里駅にもアクセスできる本案に賛成です。路線変更に併せて、全体のバス路線(名鉄運行バス、コミュニティバスおよび接続便)の利用者を増やすための追加策や周知などの工夫によりバス運行事業の収支改善に努めていただきたい。本年4月より、名鉄バス路線(稻沢中央線)については、運行経費の赤字額を市が補填することとし、補助金を大きく増額しています。名鉄との連携強化、DX等の活用により利用者を増やし、バス路線全体の赤字の縮減に努めてください。	
49		他市の様に積極的に公共交通に予算を投ずるべきです。	ご指摘のとおり、近年では「公共交通は社会のインフラ」という考えが全国的に普及してきております。本市といたしましても、市全体の財政状況を踏まえつつ、地域特性に即した地域公共交通サービスを提供できるよう努めてまいります。
50		千代田・平和線の平和支所行き第1便について、道路渋滞によりバスが毎回5~10分遅れて来ます。その為、折り返しの帰りのバスに乗るのは大変です。	コミュニティバスは、道路状況により遅延が生じやすい公共交通であるため、利用者の方々には日頃からご不便をおかけしております。今後も利用状況や遅延状況の把握・分析に努め、より良い地域公共交通の実現に向けて、引き続き「稻沢市地域公共交通会議」において路線や時刻表等を協議・検討してまいります。
51		足の不自由な人、一人暮らしの人等に対して電話又はメールなどでバスを予約出来ると有難い。各停留所まで歩く事が出来ない方もいるので、予約のルールなどを決めて各家庭の玄関先へ「バス」を着けて頂ければ一人暮らしの老人にも使い易い交通手段として買物も病院も積極的に外出出来るのではないかと思う。また、カレンダーによる個人の予定表などを郵送してもらい当日の予定の最短コース等を「AI」などで分析して無駄のない「バス」の運行を計る事が出来れば最良かと思う。	本市では、バス停や接続便乗り場まで移動が困難な方への外出支援として、「稻沢おでかけタクシー事業」を実施しております。当該事業は、「75歳以上の方」、「障害をお持ちの方」、「妊産婦の方」を対象にしたドア・ツー・ドア制度となりますので、該当する場合はこちらのご利用をご検討いただきますようお願いいたします。